



山脇学園 高校1年
学年通信
2025年 5月

新緑が生き生きとした季節となりました！

新クラスは慣れてきましたでしょうか。学年で過ごす生活を大事にしながら、自分が何をしたいかを考えていってください。学年通信を発行します。

学ぶという冒険へ

(学年部長：岩永洋輔)

高校生活が始まって、早くも1か月が経とうとしています。授業の中で皆さんの様子を見ていて感じるのは、「授業に能動的に参加している人」と「受動的に受けている人」とでは、学びの深さに大きな差が生まれているということです。

好奇心を持って授業に臨み、自分自身で考えを深めようとすることで、学びはより自分のものになります。仮に失敗したとしても、それは納得のいく経験として自分の中に蓄積され、精神的にも健やかな学びになります。

一方で、授業を受け身のままに捉えていると、思考の深化や学びの連続性が断たれ、やがては授業そのものが退屈に感じられるようになります。その結果、授業中に眠くなったり、机に向かうだけで反射的に眠くなってしまったりする負のサイクルに陥ってしまうこともあります。

皆さんは今、どちらの学び方をしているのでしょうか？

さて、今回は「リベラルアーツ（教養教育）」について少し触れてみたいと思います。

最近は見直されつつありますが、日本の大学では、教養教育が「専門教育の前段階」として位置付けられてきた経緯があります。しかし、欧米のリベラルアーツ教育はそれとは異なり、幅広い知識と柔軟な思考力を育てる独立した学問領域として確立されています。リベラルアーツは、現代社会の複雑な課題に対処するための「総合力」を育むことを目的としており、専門性と並ぶ、あるいはそれを補完する力として重要視されています。

一つの物事を多面的に捉え、その本質までを深く掘り下げることにより、その知識は他分野にも応用可能となり、人生の中で問題解決に役立つ「知の引き出し」を増やすことにつながります。リベラルアーツとは、言い換えると「自分が社会の中でどのような立場にあり、何をすべきかを理解する力」でもあります。そしてその力を育むには、幅広い知識と視野が欠かせません。

多くの優れた経営者や専門家は、豊かな教養に支えられた視野を持ち、自らの専門分野に独自の強みを築いています。逆に、教養を軽視し続けた結果、まわりが見えなくなり、気づかぬうちに大きなリスクにさらされている場合もあります。（もちろん、例外的に成功する場合もありますが、それは極めて稀です。）

私自身、かつて研究開発に没頭するあまり、視野が狭くなっていた経験があります。研究者として「これは社会に必要なだ」と思い、企画を提案しても却下されることが続き、時には会議の冒頭で話も聞かれずに終わってしまうことすらありました。しかし、その後、組織や社会全体の動きを俯瞰する立場になって初めて、自分の考えがいかに独りよがりであったかに気づかされました。

思い返せば、アイルランドで音楽をしていた頃は、広い視野で人と関わり、世界とつながっていたはずなのに――。あのときの柔軟な思考や感性を、いつのまにか忘れてしまっていたのかもしれませんが。

残念ながら、日本社会は依然として偏差値や大学名を重視する傾向が強く、将来の不確実性に備えて教養やレジリエンス（困難を乗り越える力）を育むことを目的とした仕組みにはなっていないのが現実です。実際、多くの新卒学生が社会に出たとき、「即戦力」として期待されるほどの力を身につけていないと感じる企業も少なくありません。（本校ではそうした現状に向き合いながら、課題解決型の教育を通じて総合的な学びを実践しています。）

皆さんは今、幅広い知識と出会い、それをゆっくりと自分の中に取り込むことができる、人生でも貴重な時期を過ごしています。授業の内容だけでは扱いきれない部分もたくさんあります。それらを自分で調べ、掘り下げ、結びつけていくのは、皆さん自身の力です。

倫理観のない経営者、経済の仕組みを知らない研究者、道徳の意識が欠けた医師、歴史を知らない政治家――。そうした姿が「自分とは関係ないもの」だと思い込んでいないでしょうか。

日々の学びがどのように自分の価値観と結びつき、行動や判断につながっていくのか。ぜひ、一度立ち止まって考えてみてください。そして、今学んでいることを点で終わらせず、線としてつなぎ、面として広げていくために、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

<朝読書と進路関連など>

毎週水曜日の朝読書は、進路研究の時間としています。最初の4回は「まずは大学の学部・学科の全体像を知る」ことを目的に、自教室の配架資料である『栄冠めざしてspecial vol.1 学部・学科ガイド』（河合塾）の一部を抜粋して、各学部で何が学べるかを読み、ワークシートへ自分の言葉で簡単にまとめて提出する取り組みをしています。

<ドキュメンタリー講座(映像制作探究講座)について>

LAPコースでは、HRの時間を使ってドキュメンタリー講座に取り組んでいます。中学までのドラマエデュケーションでは自己表現や傾聴の仕方などを学ぶことを通じて、クラス内のチームビルディングを図ることが目的でしたが、高校のこの講座では校外へ目を向け、社会課題の解決策を映像を通して表現することに挑戦します。初回の授業では、(一社)日本文化教育連盟の講師の方々から、まずドキュメンタリーとは何かを学び、グループ毎に各自の興味・関心のある事柄を出し合いました。

<スカートお直しのお願い>

成長に伴いスカート丈が短くなっている方にお直しのお願いをお渡ししました。大型連休を利用してスカート丈のお直しをお願いします。スクールガイドでは・膝の半分が隠れる程度（第2制服）となっています。新年度も始まり、新しい気持ちで制服が着用できますようご協力お願い申し上げます。

<スクールガイド訂正について>

短縮授業時の遅刻の扱いは、スクールガイドP4では“短縮授業の場合は12分”となっていたましたが、内規の通り“**短縮授業の場合も15分**”となります。ホームページのスクールガイドも訂正いたしました。ご迷惑をおかけしました。ご了承をお願いいたします。

5月		
1	木	創立記念日
2	金	指定休日
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	高3模試日
8	木	
9	金	コース別研修
10	土	探究日
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	学年ランチABCD組
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	防災訓練
22	木	学年ランチEFG組
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	1学期中間考査
29	木	
30	金	
31	土	

【今後の予定】

＜5月9日のコース別研修について＞

高校1年は、5月7日、8日は通常授業日となりますが、5月9日はコース別の研修となります。

LAP：ドキュメンタリー＆大学研究など

LAPコースは、校内にていくつかのプログラムを実施します。午前中は進路に関する内容を主としたプログラムを実施します。株式会社フロムページより石黒晋也様をお招きし、「興味関心のあることが大学で学べる」ことを実感し、自分の将来を考えるツールとしての「夢ナビプログラム」のご紹介を頂く他、本校学習進路部による進学ガイダンスや、昨年より本校と高大連携に関する協定を結んだ法政大学による学部説明会などを実施します。午後はLAPコースの柱の一つであるドキュメンタリー講座をプロの講師をお招きし、実施します。通常よりも長い時間をういた活動になりますので、企画立案から発表活動までをこの日は一日で実施する予定です。お弁当をご持参ください。

IEP：SusHi Tech Tokyo参加

A組はアントレプレナーシップを直接体験し、1学期のテーマである自己理解を深めるために、サステナブルな都市の未来を構想するアジア最大級のスタートアップ・カンファレンスに参加します。全世界から集う著名人の講演に耳を傾け、ブースに出展する起業家の方たちや、ITAMAEと呼ばれる大学生のサポーターたちとの交流を通して、ロールモデルに出会い、自分の志の種を見つけることで2学期のアクションにつなげることが狙いです。詳細は安心でんしょばとの「IEPコース5月校外学習のお知らせ」でご確認ください。

集合時刻：8時40分

場 所：東京ビッグサイト

解散予定：17時30分

ISP：富士山研修の事前学習

G組は7月の富士山研修の事前学習として、富士山北麓の原生林をフィールドとして毎木調査という調査活動を行います。自然物を定量的に測定し、数値データを得るための手法を学び、7月の富士山でのフィールドワークに生かすことが目的です。詳細はお嬢様に配布するしおりと「サイエンスクラス5月校外学習のお知らせ」でご確認ください。

集合時刻：7時40分

場 所：ピロティ

解散予定：18時～18時30分

＜定期考査＞

5月28日から31日まで1学期中間考査となります。高1は科目数が1番多い学年となります。考査に向けてしっかり計画を立てて下さい。提出物の締め切りも忘れないようにしましょう。

＜学習系アプリの導入について＞

スタディサプリ、スタディプラス、マナビジョンへの登録を行いました。高校では定期考査で受験する科目数が増えることに伴い、勉強する量も多くなっていきます。短い時間で集中し成果を上げるために毎日の学習時間をスタディプラスで管理したり、わからないところをスタディサプリの動画で復習したり、模試の振り返りなどの記録をマナビジョンで行ったりと、効率の良い学習を心がけていきましょう。

＜夏季学校＞

LAP 1班（BCF組）：7月22日(火)～7月24日(木)、2班（DE組）：7月23日(水)～7月25日(金)

自分たちが生きている「場所」を知ることをテーマに、河口湖近辺と静岡伊豆で研修を行います。ガイドの説明を聞きながらの樹海探検や宝永山のトレッキングを通じて日本の土地の成り立ちを体感します。また、水資源に関係する柿田川湧水、世界遺産の韮山反射炉などの見学を通して産業と土地の関係などを学びます。2日目の午後は、班ごとのテーマをもとに自主研修を行う予定です。詳細は6月の保護者会にてご説明いたします。

IEP シアトル研修：7月13日(日)～19日(土)

A組は、スタートアップ企業の多いシアトルで1週間の研修旅行を行います。5月の校外学習で参加したSusHi Tech Tokyoはサーキュラーシティがテーマでした。本研修では、シアトルでもしカンファレンスを行うのであれば、どんなテーマを設定しどんな内容にするのかを創り上げることがゴールです。シアトルの街を散策し、スタートアップ企業を訪れて、現地の課題を肌で感じます。その後、現地大学生や高校生とディスカッションし、自分たちのプランを掘り下げていきます。このプログラムを通して、グローバルな視野で社会を俯瞰し、他者と協働して課題を解決するマインドを育てます。今後の説明会等の日程は順次安心でんしょばとにてお知らせいたします。

ISP 7月22日(火)～7月25日(金)

G組は22日と23日は山梨側の富士山5合目付近で活動します。22日は御中道トレッキング、23日は御庭洞門での調査活動を実施し、富士山こどもの国のパオに宿泊します。パオでの宿泊となるため、寝袋（詳細は後日）が必要になります。24日は静岡側から富士山に登り、山梨側と静岡側での違いに着目しながら宝永山の頂上を目指します。25日は3日間で調べたことを静岡大学で発表する予定です。その他様々なアクティビティや探究活動の一助となるようなイベントを用意しています。詳細は6月の保護者会にてご説明いたします。

＜能楽鑑賞＞

高校1年では国語科と連携して「伝統文化探究プログラム」を行ってまいります。その一環として、3月6日（金）午前中に、観世能楽堂において能楽鑑賞会を行います。全員参加の学年行事となりますので、予定を入れないうお願いします。

＜7月11日薬物乱用防止教室＞

7月11日（金）[答案返却日] 12:00に、本校講堂にて、高校1年生を対象とした安全教室を実施します。赤坂警察の方をお招きし、薬物乱用防止をテーマとした講演会を予定しております。